



先生の推し本 第6回

2022年12月12日
～2023年2月末頃



浅本紀子先生

1983年、お茶の水女子大学理学部数学科を卒業。1985年、お茶の水女子大学大学院理学研究科修士課程数学専攻修了。博士（工学）（1998年 信州大学）。株式会社日本サイバネテクス、お茶の水女子大学理学部助手、同理学部助教授、同情報基盤センター長などを経て、現在お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系教授。専門は、計算機支援、学習管理システム、情報教育。

私の思い出本～大学入学してから節目の時にあった本たち～

思い出に残っているものということで、自分が大学生になったころから思い出しながら徒然と挙げていたら、とりとめのないリストになりました。現代の大学生の皆様向けでない本も混ざっていますが、当時の自分の思い出本です。小さい頃から本を読むのは好きな方で、大学入学で上京してからは自分で買う本は文庫や新書になりましたが、それでも場所を取るの下宿の頃は本棚や押し入れからはみ出した本の山に困ったものです。数年前に意を決して中身を見ずに紙の本の山を処分して、現在は主に電子書籍です。紙の本の良さが捨て難かったですが、物理的制約を気にせずに保有できて色々な場所で読めるメリットは抜け出せなくなりました。昔の本も随分と電子版で復刻されており便利になったものです。デメリットといえば、ワンクリックで買ってしまいついつい散財してしまうことでしょうか…。皆さんは、ぜひ図書館を活用の上、ご利用は計画的に！



図書館HPの
企画展示ページへはこちら

